



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場会社名 オリジン電気株式会社

コード番号 6513 URL <http://www.origin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 妹尾 一宏

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長

(氏名) 宮田 寛司

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

TEL 048-755-9242  
平成27年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	16,564	△9.4	1,016	△36.7	1,149	△36.3	715	△33.5
27年3月期第2四半期	18,276	33.8	1,605	—	1,804	—	1,076	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 712百万円 (△32.2%) 27年3月期第2四半期 1,050百万円 (△20.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	21.46	—
27年3月期第2四半期	32.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	44,198	26,049	52.8
27年3月期	42,628	25,693	53.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 23,338百万円 27年3月期 22,908百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.50	—	4.50	8.00
28年3月期	—	3.50	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△7.2	1,800	△38.8	1,800	△48.6	1,200	△58.2	35.99

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	33,499,931 株	27年3月期	33,499,931 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	166,902 株	27年3月期	164,298 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	33,334,332 株	27年3月期2Q	33,341,547 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料2ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、景気は穏やかな回復基調が続いております。一方、海外経済は、先進国を中心とした穏やかな成長が続いていますが、中国経済の減速が鮮明となり、先行き不透明な状況で推移しております。

このような中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主としてコンポーネント事業の精密機構部品が前年同四半期比で増収となりましたが、メカトロニクス事業が前年同四半期比で大幅な減収となり、売上高は165億6千4百万円（前年同四半期比9.4%減）となりました。

利益面におきましては、営業利益10億1千6百万円（前年同四半期比36.7%減）、経常利益11億4千9百万円（前年同四半期比36.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億1千5百万円（前年同四半期比33.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## [エレクトロニクス事業]

エレクトロニクス事業の売上高は前年同四半期比2.4%減の42億1百万円（総売上高の25.4%）となりました。

スマートフォンなどの携帯端末向けのLTE投資活発化に伴い、無線基地局用電源の販売は好調に推移する一方、一部の停電対策等の用途において伸び悩みが見られました。半導体製造装置向けの高電圧電源については設備投資の抑制局面が継続し低迷しました。

## [メカトロニクス事業]

メカトロニクス事業の売上高は前年同四半期比57.2%減の16億2千7百万円（総売上高の9.8%）となりました。

光半導体用小型溶接機は引続き光通信市場の活況により順調に推移しました。MDB (Mobile Display Bonder) は当期受注案件が順調に立ち上がり売上に寄与しましたが、中国ローカル市場への投入は徐々に進みつつあるものの、売上には至りませんでした。

## [ケミトロニクス事業]

ケミトロニクス事業の売上高は前年同四半期比4.0%増の54億8千7百万円（総売上高の33.1%）となりました。

主力の自動車関連分野においては、国内海外共に既存の維持に加え、新規獲得が売上に寄与し、全体としては前年同四半期より微増となりました。情報家電関連分野は、国内において携帯電話、ノートパソコン向け販売は低迷が続いています。

## [コンポーネント事業]

コンポーネント事業の売上高は前年同四半期比7.3%増の52億4千8百万円（総売上高の31.7%）となりました。

半導体デバイスは、環境対応車関連向けパワーデバイスや太陽光発電関連向けモジュールは堅調に推移しましたが医療機器・遊技機・デジタルスチルカメラの販売低迷により、売上高は前年同四半期比7.4%減の14億3百万円（総売上高の8.5%）となりました。

精密機構部品は、複写機・プリンタ関連とATMなど金融機器関連向け製品が需要増加により好調に推移したことに加え円安効果もあり、売上高は前年同四半期比13.8%増の38億4千4百万円（総売上高の23.2%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、441億9千8百万円となり、前連結会計年度末より15億6千9百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が6億1千1百万円減少しましたが、本社及び本社工場移転による新棟建設に伴い建物及び構築物が9億7千4百万円、有形固定資産のその他が9億6百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、181億4千8百万円となり、前連結会計年度末より12億1千3百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が5億3千8百万円、長期借入金が2億6千5百万円減少しましたが、流動負債のその他が15億8千8百万円、短期借入金7億円増加したことなどによるものであります。

純資産は、260億4千9百万円となり、前連結会計年度末より3億5千6百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が2億4千8百万円減少しましたが、利益剰余金が5億6千3百万円増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日に発表した平成28年3月期の連結業績予想の数値を修正しておりません。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,491	7,879
受取手形及び売掛金	11,153	11,396
商品及び製品	1,466	1,779
仕掛品	3,859	3,524
原材料及び貯蔵品	1,962	1,918
繰延税金資産	410	380
その他	204	376
貸倒引当金	△15	△15
流動資産合計	27,534	27,239
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,614	3,588
機械装置及び運搬具（純額）	836	917
土地	4,298	4,298
その他（純額）	1,610	2,517
有形固定資産合計	9,360	11,322
無形固定資産		
のれん	78	48
その他	742	759
無形固定資産合計	821	807
投資その他の資産		
投資有価証券	4,370	4,194
繰延税金資産	223	291
その他	419	442
貸倒引当金	△101	△100
投資その他の資産合計	4,912	4,827
固定資産合計	15,093	16,958
資産合計	42,628	44,198

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,885	6,346
短期借入金	500	1,200
1年内返済予定の長期借入金	530	530
未払法人税等	318	193
賞与引当金	555	570
役員賞与引当金	28	—
その他	2,233	3,821
流動負債合計	11,050	12,662
固定負債		
長期借入金	1,307	1,042
退職給付に係る負債	4,092	3,979
固定資産解体費用引当金	415	415
その他	69	49
固定負債合計	5,884	5,486
負債合計	16,935	18,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,103	6,103
資本剰余金	3,454	3,454
利益剰余金	10,449	11,013
自己株式	△88	△89
株主資本合計	19,919	20,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,590	1,342
為替換算調整勘定	1,398	1,514
その他の包括利益累計額合計	2,989	2,856
非支配株主持分	2,784	2,710
純資産合計	25,693	26,049
負債純資産合計	42,628	44,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	18,276	16,564
売上原価	13,480	12,181
売上総利益	4,796	4,382
販売費及び一般管理費	3,190	3,365
営業利益	1,605	1,016
営業外収益		
受取利息	32	47
受取配当金	35	47
為替差益	152	31
持分法による投資利益	12	27
その他	36	57
営業外収益合計	269	210
営業外費用		
支払利息	18	14
環境対策費	—	19
その他	53	43
営業外費用合計	71	77
経常利益	1,804	1,149
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	33	5
減損損失	228	—
本社移転費用	—	10
特別損失合計	262	16
税金等調整前四半期純利益	1,541	1,136
法人税、住民税及び事業税	294	259
法人税等調整額	80	81
法人税等合計	374	340
四半期純利益	1,167	795
非支配株主に帰属する四半期純利益	90	79
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,076	715



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	1,167	795
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	333	△245
為替換算調整勘定	△452	165
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△3
その他の包括利益合計	△116	△82
四半期包括利益	1,050	712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,103	582
非支配株主に係る四半期包括利益	△52	129

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。